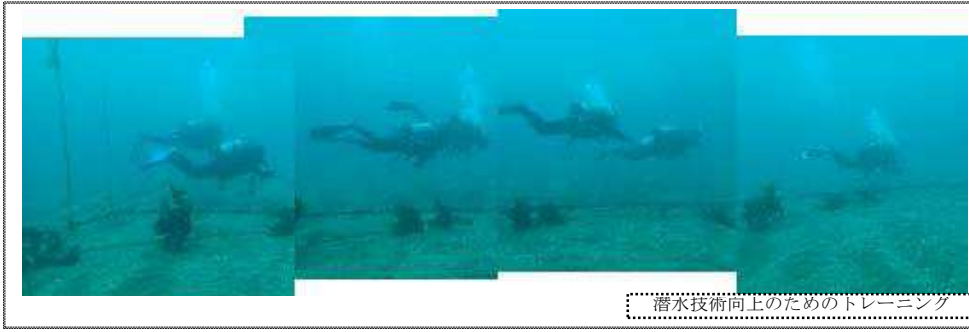




# スリーアイ会報

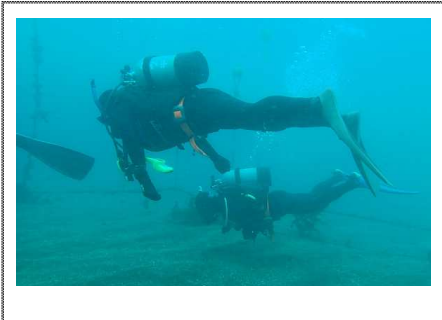
『みんなで潜ろう！』  
～活動報告～  
適正な浮力を  
コントロールする』

vol.4



潜水技術向上のためのトレーニング

【みんなで潜ろう！】  
活動報告  
適正な浮力をコントロールする



今、この時期は、浮力コントロールの重要性が再認識されています。浮力コントロールとは、水中で沈むか浮くかを調整することです。浮力コントロールが適切に行われていないと、浮力不足による沈没や浮力過多による浮上速度の急激な増加など、危険な状況に陥る可能性があります。本誌では、浮力コントロールの重要性と、適切な浮力コントロールの方法について、詳しく解説します。

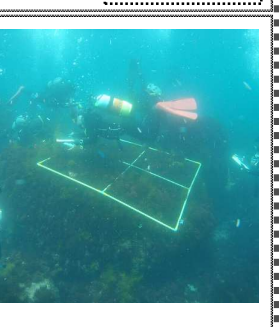
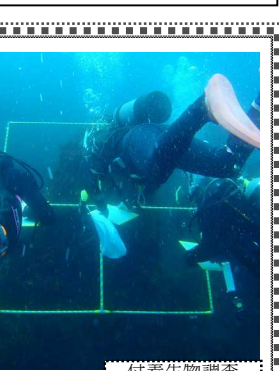
適正な浮力をコントロールする  
この調整ができていないと、浮力不足による沈没や浮力過多による浮上速度の急激な増加など、危険な状況に陥る可能性があります。本誌では、浮力コントロールの重要性と、適切な浮力コントロールの方法について、詳しく解説します。

この調整ができていないと、浮力不足による沈没や浮力過多による浮上速度の急激な増加など、危険な状況に陥る可能性があります。本誌では、浮力コントロールの重要性と、適切な浮力コントロールの方法について、詳しく解説します。

この調整ができていないと、浮力不足による沈没や浮力過多による浮上速度の急激な増加など、危険な状況に陥る可能性があります。本誌では、浮力コントロールの重要性と、適切な浮力コントロールの方法について、詳しく解説します。

この文章が、私が潜水研修でやったことすべて書いておいてくれます。詳しく『月刊ダイバー』の連載：水中科学研究所を読んでください。

（みんなで潜ろう！）  
活動報告  
適正な浮力をコントロールする



附着生物調査

■表1 アルミタンクとスチールタンクの違いの例 (Kevin Garrによる情報の一部を改変したもの)

	内容量 (ℓ)	容量 (フル充填時)	充填圧 (bar)	外径 (mm)	長さ (mm)	空重量 (kg)	浮力 (フル充填時kg)	浮力 (空の時kg)
アルミタンク	9.05	1783.7	207.0	184.1	554.9	12.1	-1.0	+1.2
	10.00	1971.2	207.0	175.0	660.3	12.9	-0.7	+1.6
	11.11	2190.9	207.0	184.1	661.8	14.2	-0.7	+2.0
	11.23	2213.5	207.0	203.2	582.3	15.9	-1.6	+1.0
スチールタンク	10.129	2265.0	219.3	184.1	505.0	12.25	N/A	-3.275
	12.665	2832.0	219.3	184.1	609.9	14.97	N/A	-3.293
	15.196	3398.0	219.3	184.1	771.7	22.50	N/A	-3.275

この表は、アメリカの基準で書かれているため、タンクの大きさは我々が使っている10ℓとか12ℓではなく(充填した内容積で表示されている。たとえば、10ℓタンクを200barで充填した場合、2000ℓと表記される(メートル法に改変した))。